



冰心（中央）と子供たち
1961年児童節（子供の日）に

生命は八十歳から始まる

冰 心

（訳 富永涓子）

親愛なる小さい友達へ：

わたしは毎日病床に横たわって、とてもきれいな一幅の絵と向き合っています。それは満面笑みをたたえ、赤い腹掛けを着て、背中に一對の大きな桃を背負っているこどもで、わきには「冰心さんの八十歳をお祝いして」と書いてあり、下には「一九八十年十月《児童文学》敬祝」と落款があります。

毎日早朝に目覚め、きらめく太陽の光でそれを見ると、楽しくなり励まされます。でも「八十」のこの二文字、わたしがなんともう八十歳になつたなんて、まるで信じられません！

病気になってからたくさんの古い友達から手紙がきて、「あなたは、こ

れからは決して歳に逆らってはいけませんよ」と慰めたり諫めたりしてくれます。そこでわたしはある友達への返信に、「孔子は『常に老いが来るのを知らず（不知老之将至）^①』と言っていますが、私は自分が老いたのを知らないほど無知なのです」と書きました。

この無知は、わたしのたくさんの小さな読者に感謝しなければなりません。わたしは二十三歳から『小さな読者へ』を書き始めて以来、絶え間なく六十年近くも書いてきました。たくさんの小さな読者達から『小さな読者へ』を読んだ後、手紙がきて、その熱い反響が、わたしを永遠に若いと思わせてくれているのですから！

わたしの病氣中に『中国少年報』の編集部から花が贈られただけでなく、写真を撮っていただいたり、又たくさんお見舞いの手紙もいただき、これらの祈りの手紙のすべてが、わたしにすぐにも快復するだろうと信じさせてくれます。わたしは脳血栓になってから、さらに右股関節を骨折しました。このため動くことも、字を書くこともとても困難です。この数百字を書くのにほとんど半時間かかりましたが、わたしは一九八一年に完全に快復したあと、ふたたび小さな友達に何かを書く努力をしたいと思っています。西洋の諺に「生命は四十歳から」とあります。わたしは一九八一年、病気がよくなってからは再び字を書く練習をよくし、歩く練習を始めたいと思っています。「生命は八十歳から始まる」のです。私は小さな友達たちといっしょに前へ進む努力をします！

あなたたちの健康をお祈りして

あなたたちの心からの友 冰心

一九八十年十月二十九日北京病院にて

①『論語』述而篇第七の十八「……發憤忘食，樂以忘憂，不知老之將至云爾」より。「……学問に没頭して興奮すると食事も忘れるほどになり、夢中になると楽しくなって憂いも忘れ、老いがくるのにも気づかないでいる」という意。

.....
謝冰心(1900-99):福建省出身。中国近代文学における代表的な作家。本訳に
使用したテキスト:『冰心散文』,北京,人民文学出版社,2005, pp.98-99.



(中国語原文) 生命从八十岁开始 冰 心

亲爱的小朋友:

我每天在病榻上躺着,面对一幅极好看的画。这是一个满面笑容,穿着红兜肚,背上扛着一对大红桃的孩子,旁边写着“敬祝冰心同志八十大寿”,底下落款是“一九八〇年十月《儿童文学》敬祝”。

每天早晨醒来,在灿烂的阳光下看着它,使我快乐,使我鼓舞,但是“八十”这两个字,总不能使我相信我竟然已经八十岁了!

我病后有许多老朋友来信,又是安慰又是责难,说:“你以后千万不能再不服老了!”所以,我在复一位朋友的信里说:“孔子说他常觉得‘不知老之将至’,我是‘无知’到了不知老之已至的地步!

这无知要感谢我的千千万万的小读者! 自从我二十三岁起写《寄小读者》以来,断断续续地写了将近六十年。正是许多小读者们读《寄小读者》后的来信,这热情的回响,使我永远觉得年轻!

我在病中不但得到《中国少年报》编辑部的赠花,并给我拍了照,也得到许多慰问的信,因为这些信的祝福都使我相信我会很快康复起来。我的病是在得了“脑血栓”之后,又把右胯骨摔折。因此行动、写字都很困难。写这几百字几乎用了半个小时,但我希望在一九八一年我完全康复之后,再努力给小朋友们写些东西。西谚云“生命从四十岁开始”。我想从一九八一年起,病后再好好练习写字,练习走路。“生命从八十岁开始”,努力和小朋友们一同前进!

祝 你们健康快乐

你们的热情的朋友 冰心
一九八〇年十月二十九日于北京医院

□□□□□